

平成20年度枝肉成績とりまとめ概要

(肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業 肉用牛繁殖雌牛能力評価等対策事業)

平成20年4月1日から平成21年3月31日の期間にと畜され、平成21年5月26日まで
に本事業で収集された黒毛和種枝肉情報は185,963件で、平成19年度の123,728頭より
62,235頭増加した。(社)日本食肉格付協会により平成20年度に格付された和牛(黒毛和種、
褐毛和種、無角和種等)424,271.5頭(去勢:249,600.5頭 雌:174,671.0頭)の43.8%を
占めていた(同協会インターネット <http://www.jmga.or.jp/> 平成21年8月12日更新より)。

表1では、去勢、雌牛別の各形質の平均を年度別に示し、図1で、形質ごとに年度別の平均
値をグラフに示した。去勢は全体頭数の62.9%(対前年-0.2%)を占めている。日齢枝肉重量
は去勢で年々増加しているが、雌では、前年度より減少した。枝肉重量は、去勢・雌ともに
年々増加している。ロース芯面積は、去勢で年々増加し、雌は、平成16、17年度にかけて減
少傾向だったが、平成18年度からは増加している。ばらの厚さは、去勢、雌ともに昨年度よ
りも増加した。皮下脂肪厚は去勢では平成17年度より年々増加しており、雌牛においては、
平成17年度までは緩やかに減少傾向であったが、平成18年度からは増加している。歩留基
準値は去勢において平成17年度から平成18年度にかけて減少したが、平成19年度から増
加している。雌については、平成16年度から平成19年度にかけて減少したが、今年度は前
年度より増加した。またBMS(No)では、去勢、雌ともに前年度より増加した。

表1 枝肉形質平均±SD

形質名	性別	14年度		15年度		16年度		17年度	
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均
日齢枝肉重量 (kg/day)	去勢	63,407	0.487	65,747	0.490	50,786	0.492	56,514	0.499
	雌	34,649	0.418	33,256	0.423	24,611	0.414	29,325	0.417
枝肉重量 (kg)	去勢	63,407	437.5	65,747	436.2	50,786	437.8	56,514	443.4
	雌	34,649	383.7	33,256	382.6	24,611	382.8	29,325	386.9
ロース芯面積 (cm ²)	去勢	63,386	52.6	65,716	52.9	50,742	53.0	56,466	53.2
	雌	34,624	51.2	33,238	51.5	24,529	50.8	29,225	50.7
ばらの厚さ (cm)	去勢	63,386	7.45	65,716	7.42	50,742	7.46	56,466	7.53
	雌	34,624	7.16	33,238	7.09	24,529	7.08	29,225	7.11
皮下脂肪厚 (cm)	去勢	63,386	2.38	65,716	2.39	50,740	2.30	56,466	2.31
	雌	34,624	2.76	33,237	2.67	24,529	2.61	29,225	2.60
歩留基準値	去勢	63,386	73.61	65,716	73.64	50,742	73.73	56,466	73.72
	雌	34,624	73.57	33,238	73.64	24,529	73.60	29,225	73.56
BMS (No)	去勢	63,386	5.27	65,716	5.19	50,742	5.37	56,466	5.47
	雌	34,624	5.17	33,238	4.97	24,529	5.08	29,225	5.02
BCS (No)	去勢	63,386	3.85	65,716	3.79	50,742	3.80	56,466	3.77
	雌	34,624	4.05	33,238	4.00	24,529	4.00	29,225	3.99
しまり	去勢	63,386	3.69	65,716	3.68	50,742	3.71	56,466	3.73
	雌	34,624	3.60	33,238	3.54	24,529	3.53	29,225	3.48
きめ	去勢	63,386	3.87	65,716	3.86	50,742	3.91	56,466	3.94
	雌	34,624	3.78	33,238	3.72	24,529	3.74	29,225	3.71

表1 枝肉形質平均±SD(つづき)

形質名	性別	18年度		19年度		20年度		
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	± SD
日齢枝肉重量 (kg/day)	去勢	66,744	0.506	78,082	0.517	117,018	0.524	± 0.067
	雌	40,760	0.429	45,646	0.442	68,945	0.439	± 0.105
枝肉重量 (kg)	去勢	66,744	451.5	78,082	461.2	117,018	468.4	± 57.9
	雌	40,760	394.3	45,646	404.9	68,945	409.0	± 59.1
コース芯面積 (cm ²)	去勢	66,671	53.3	78,016	54.2	116,892	55.1	± 8.3
	雌	40,650	51.1	45,509	52.2	67,994	53.0	± 9.0
ばらの厚さ (cm)	去勢	66,671	7.51	78,016	7.58	116,892	7.68	± 1.00
	雌	40,650	7.11	45,509	7.22	67,994	7.27	± 1.03
皮下脂肪厚 (cm)	去勢	66,671	2.34	78,016	2.37	116,888	2.43	± 0.74
	雌	40,650	2.63	45,509	2.74	67,992	2.78	± 0.83
歩留基準値	去勢	66,671	73.60	78,016	73.62	116,892	73.65	± 1.33
	雌	40,650	73.49	45,509	73.48	67,994	73.51	± 1.46
BMS (No)	去勢	66,671	5.39	78,016	5.43	116,892	5.74	± 2.10
	雌	40,650	4.96	45,509	5.08	67,994	5.21	± 2.13
BCS (No)	去勢	66,671	3.79	78,016	3.79	116,892	3.80	± 0.58
	雌	40,650	4.01	45,509	3.99	67,994	4.05	± 0.63
しまり	去勢	66,671	3.69	78,016	3.71	116,892	3.78	± 0.90
	雌	40,650	3.49	45,509	3.53	67,994	3.52	± 0.99
きめ	去勢	66,671	3.92	78,016	3.92	116,892	3.99	± 0.79
	雌	40,650	3.71	45,509	3.75	67,994	3.74	± 0.88

図1 各形質の年度別平均

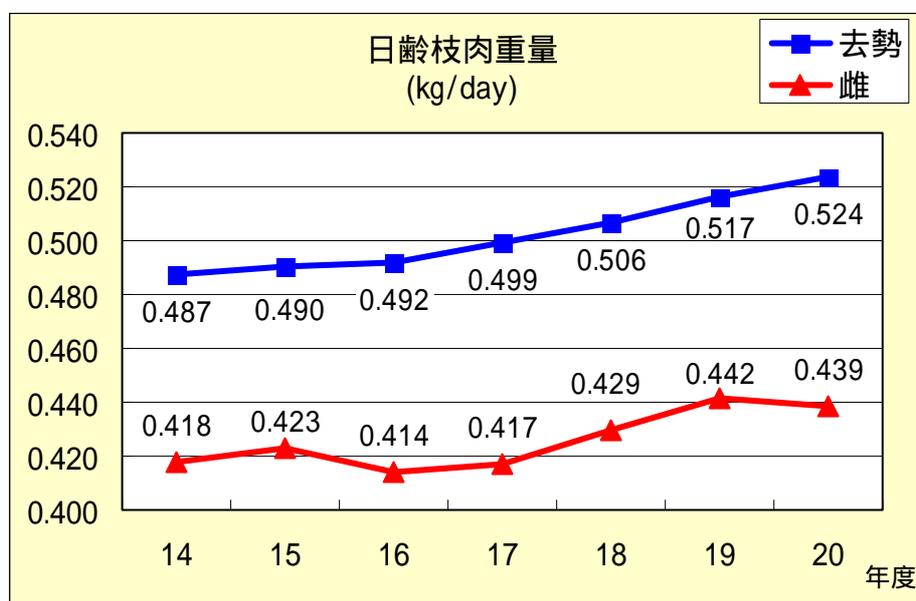


図1 各形質の年度別平均(つづき)

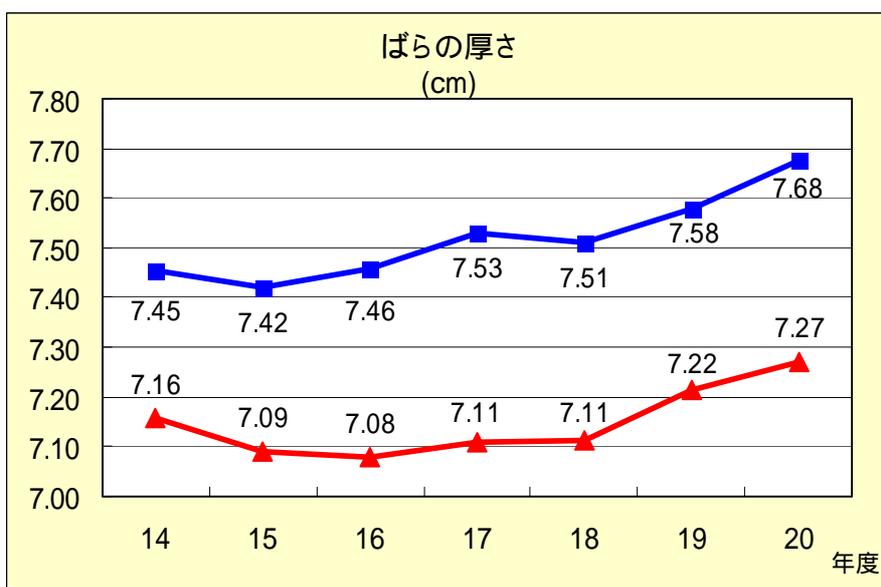
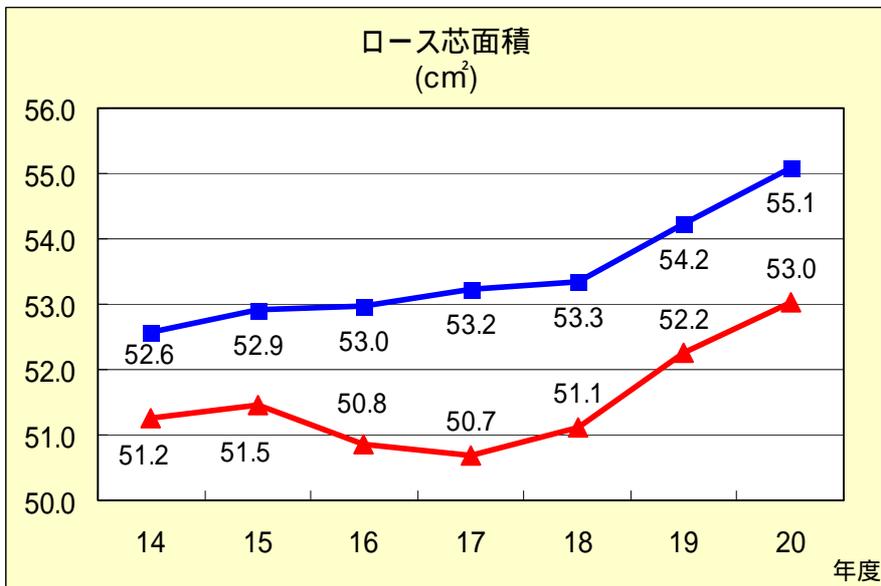
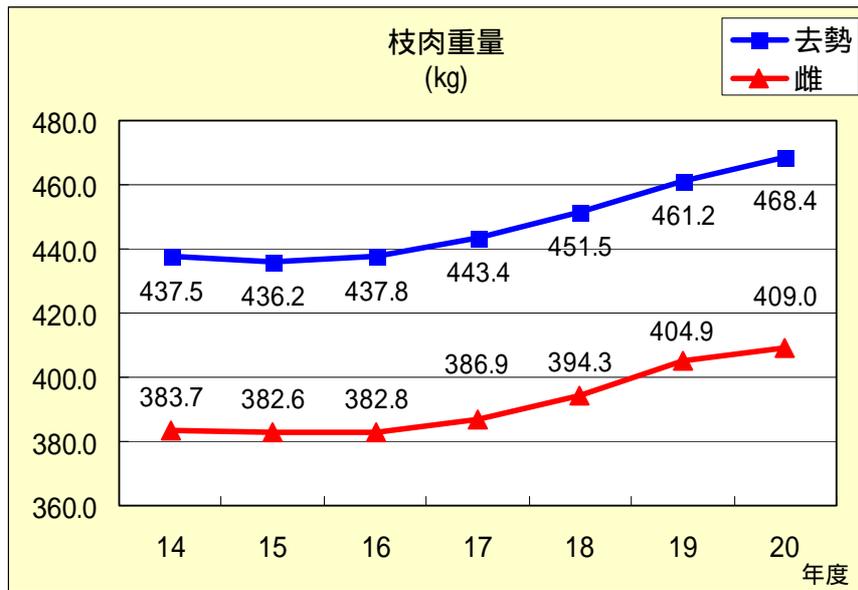


図1 各形質の年度別平均(つづき)

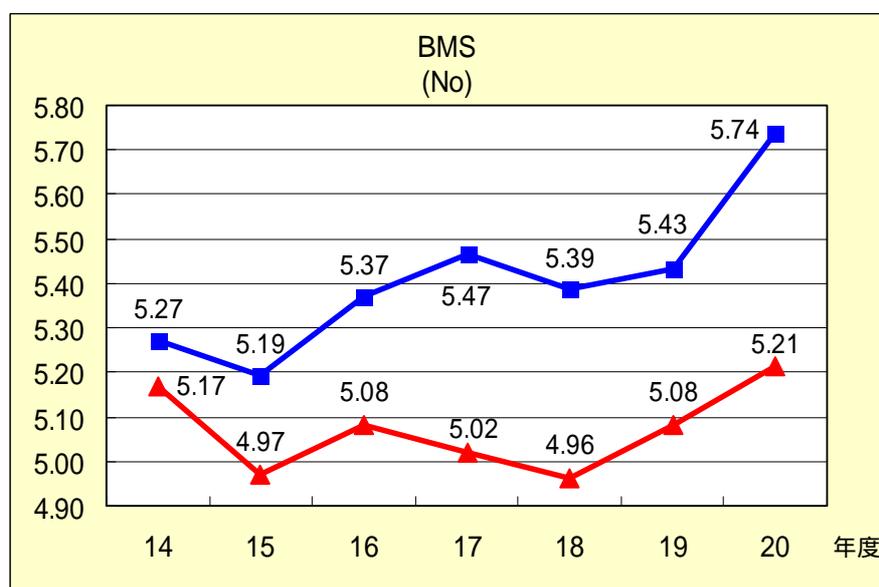
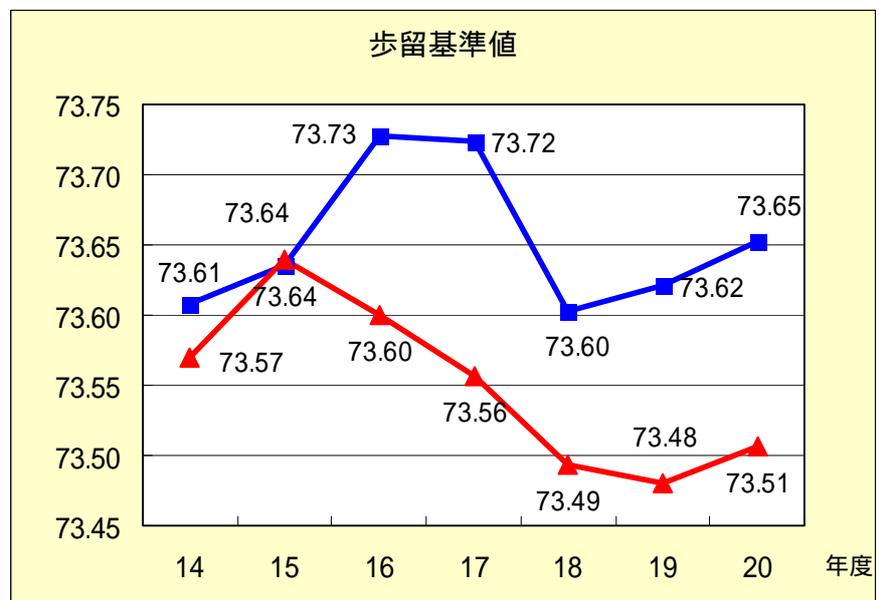
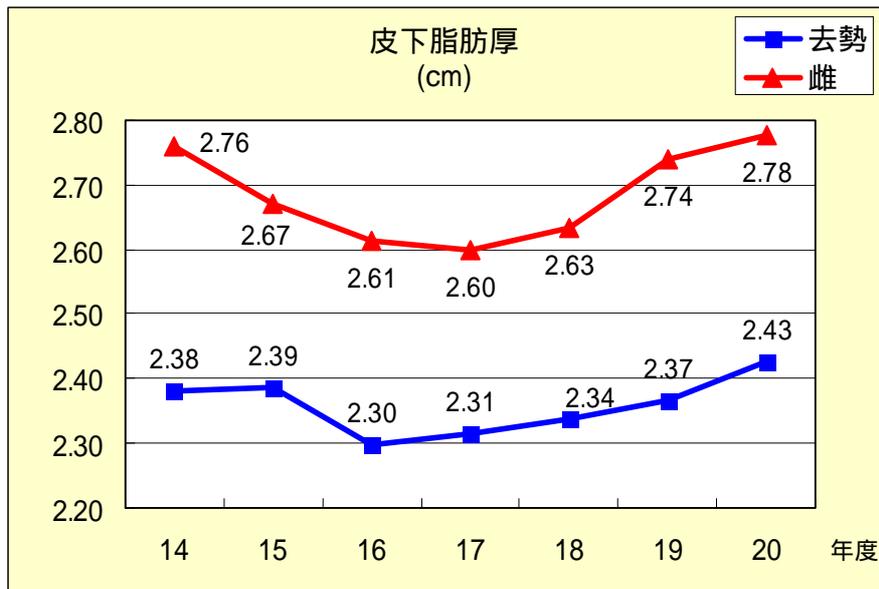
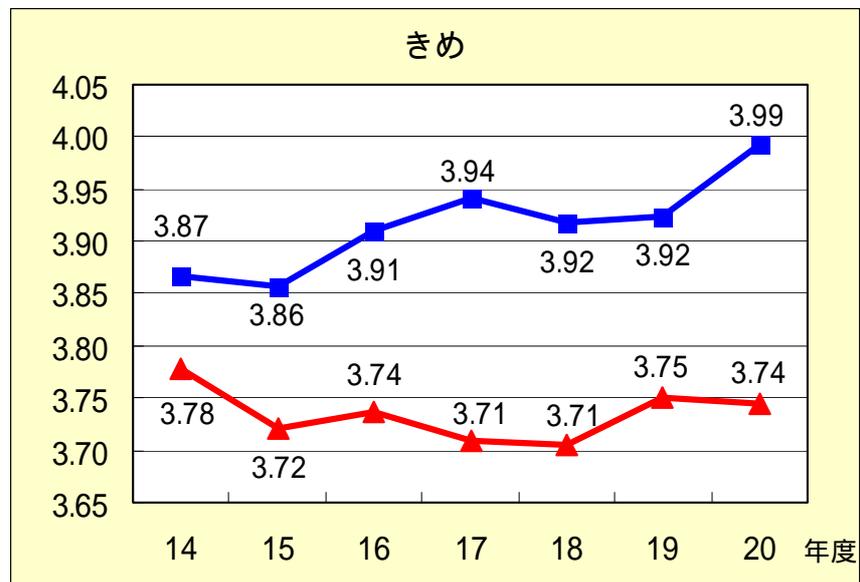
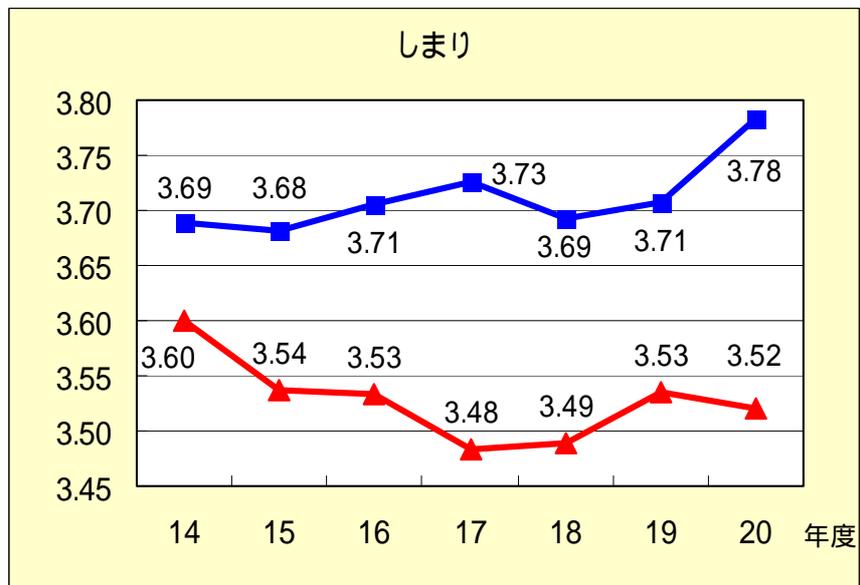
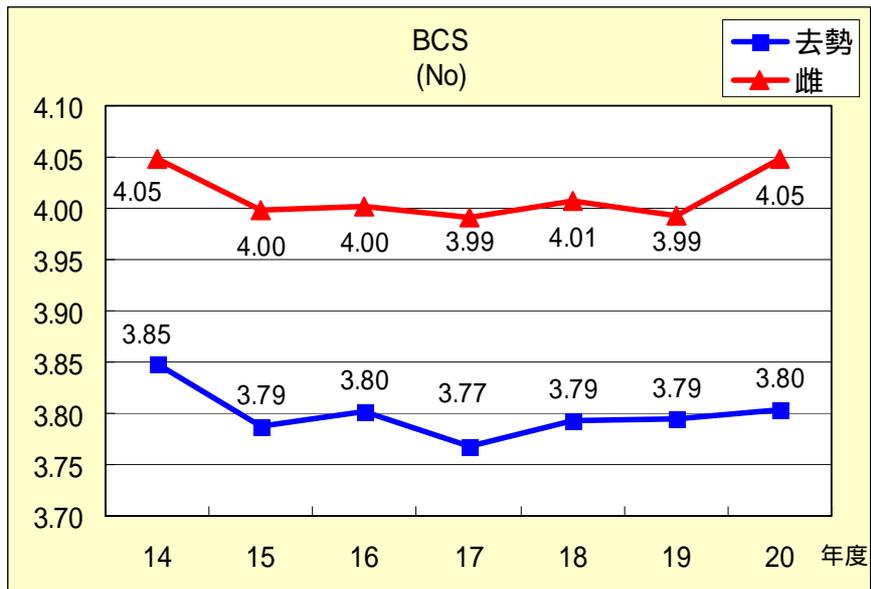
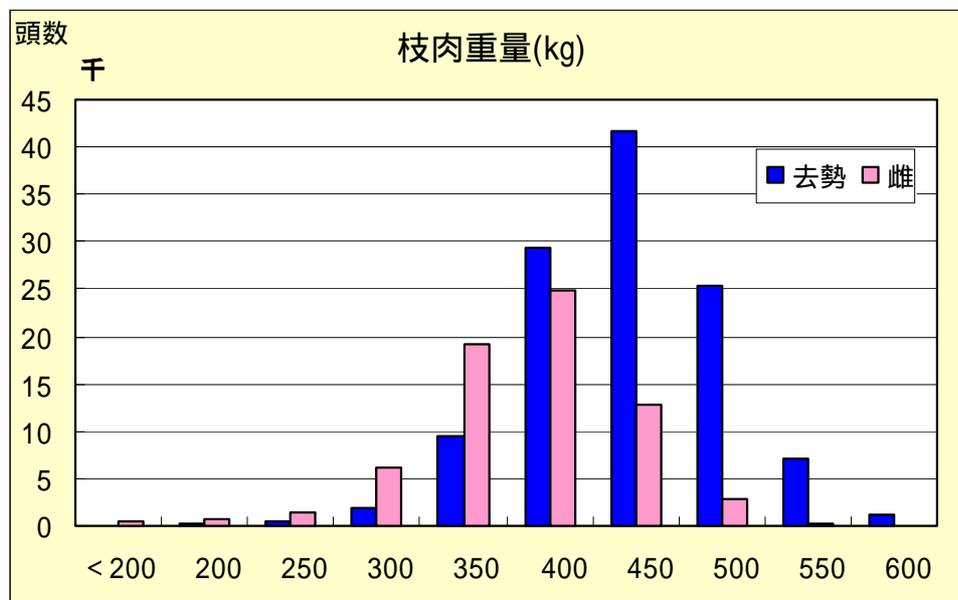
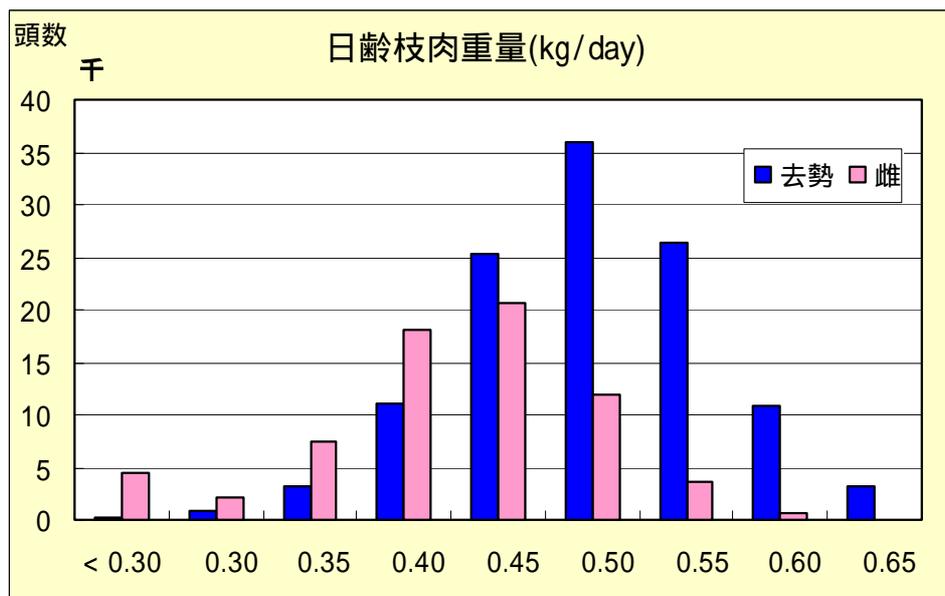


図1 各形質の年度別平均(つづき)



各形質の平成 20 年度の度数分布を図 2 に示した。日齢枝肉重量は、去勢で 0.50 ~ 0.55kg/day が 35,916 頭と去勢全体の 30.7%(対前年+2.2%)を占め、雌では 0.45 ~ 0.50kg/day が 20,689 頭と、雌全体の 30.0%(対前年+1.3%)を占めていた。枝肉重量について、去勢で最も多く分布していたのは、450 ~ 500kg の 41,726 頭と去勢全体の 35.7%(対前年+2.0%)、雌は 400 ~ 450kg の 24,982 頭と雌全体の 36.2%(対前年+0.6%)だった。

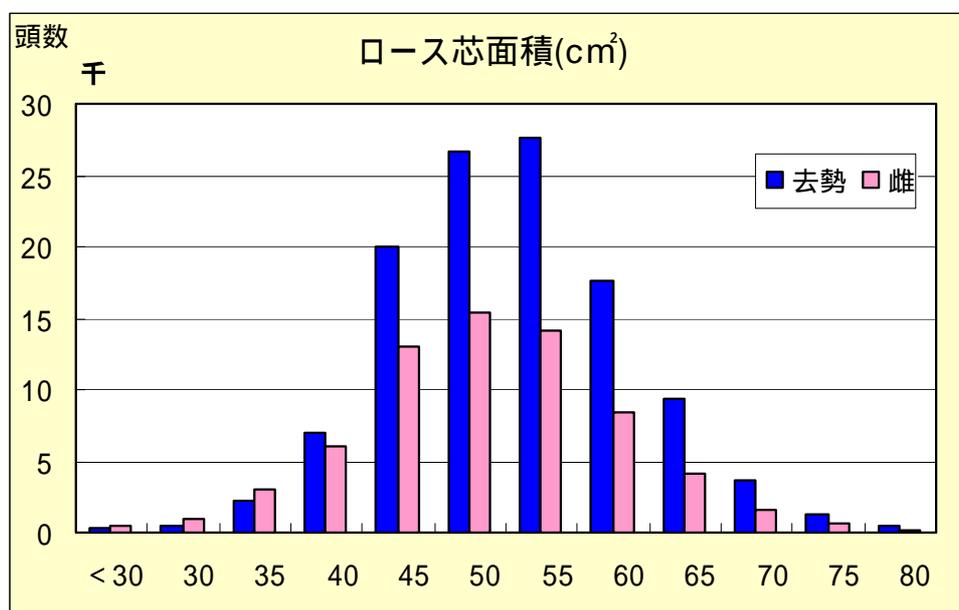
図2 各形質の度数分布



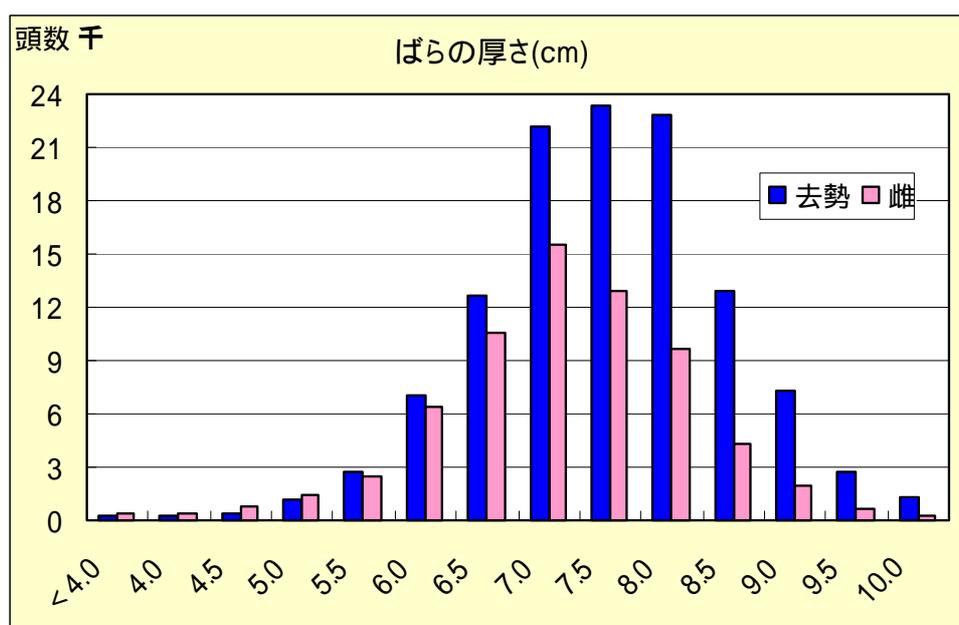
ロース芯面積については、去勢は 55 ~ 60cm²の階層が最も多く、去勢は27,604 頭と去勢全体の 23.6%(対前年+1.1%)を占め、雌は 50 ~ 55cm²の 15,443 頭で雌全体の 22.7%(対前年-0.6%)だ

った。

図2 各形質の度数分布(つづき)



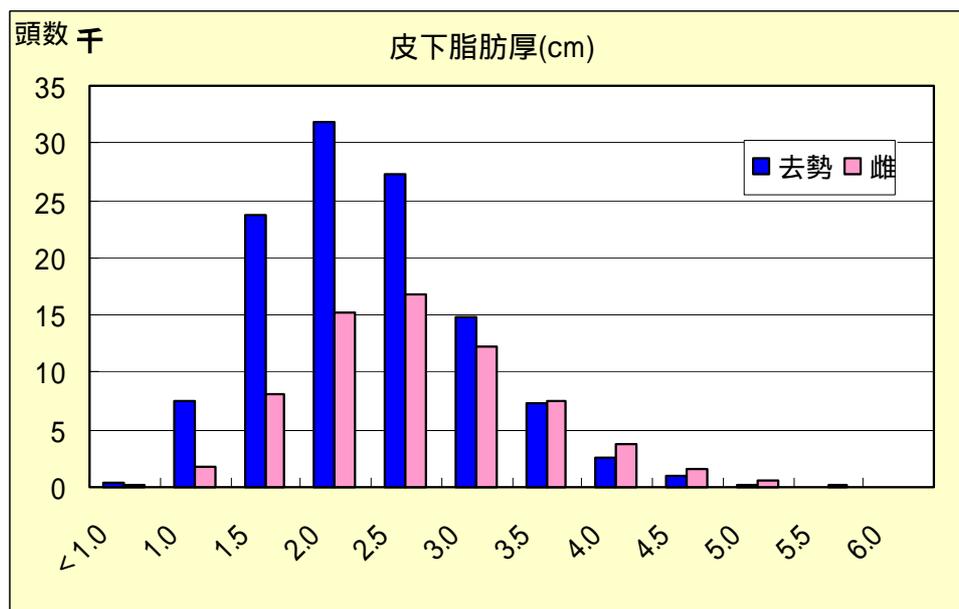
ばらの厚さについては、去勢において7.5～8.0cmの階層が23,396頭と去勢全体の20.0%(対前年+0.5%)と多く、次いで8.0～8.5cmの22,822頭となり、去勢全体の19.5%(対前年+2.3%)だった。雌では、7.0～7.5cmの階層が15,557頭で22.9%(対前年-0.8%)と最も多く、次いで、7.5～8.0cmの12,963頭となり19.1%(対前年+0.6%)であった。



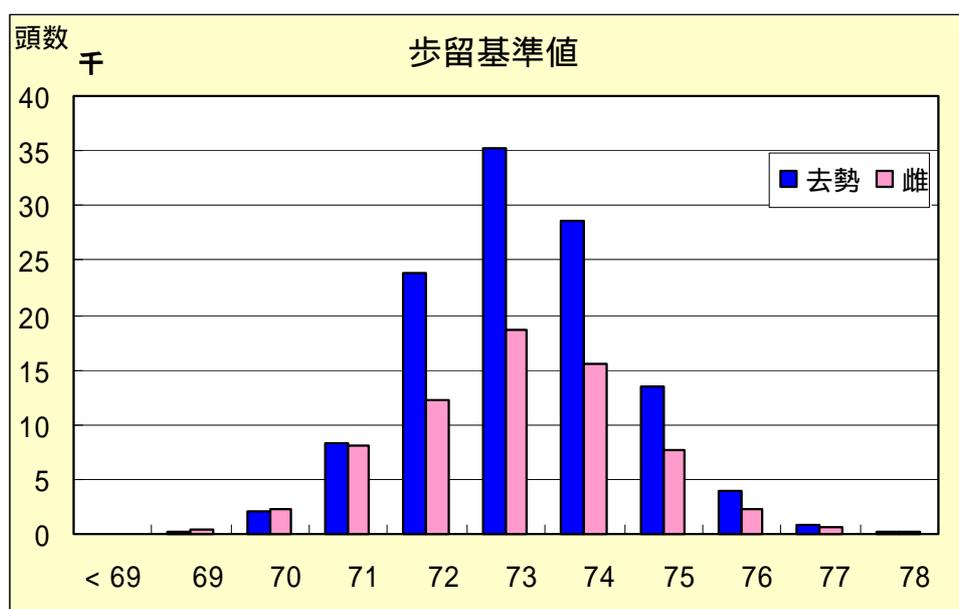
皮下脂肪の厚さは、去勢で2.0～2.5cmの階層が最も多く、31,767頭の27.2%(対前年-0.8%)、

雌では 2.5～3.0cm の階層が最も多く、16,720 頭で 24.6%(対前年 ±0)だった。

図2 各形質の度数分布(つづき)

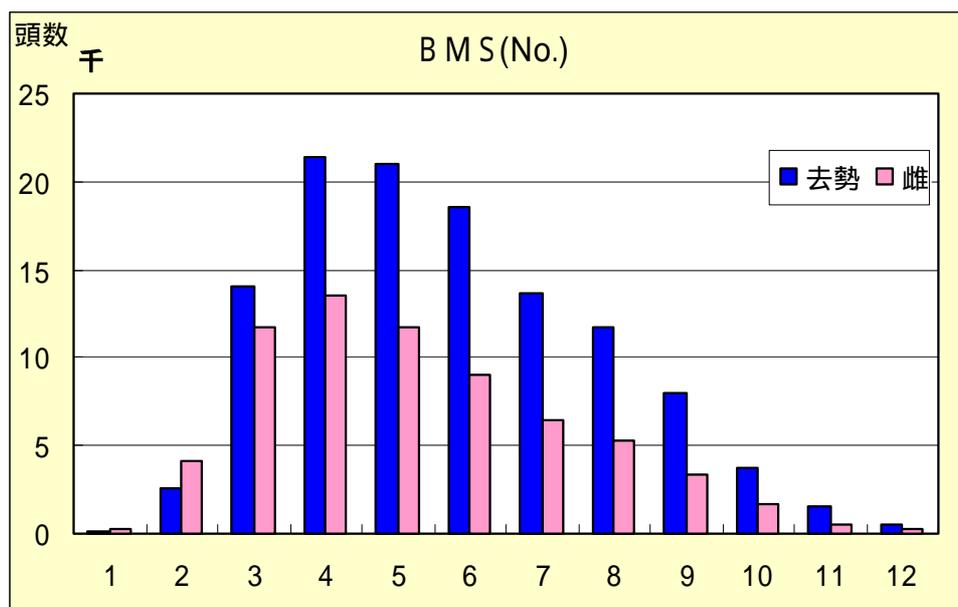


歩留基準値は、格付の際の仮等級区分として、72 以上を A とするが、72 以上は去勢で 106,119 頭(去勢全体の 90.8%)であるのに対し、実際の格付の A 判定は 104,306 頭(89.1%)となり、1,813 頭(2.3%)減少している。雌では、72 以上は 57,047 頭(雌全体の 83.9%)に対し、等級判定では A が 55,257 頭(80.1%)となり、1,790 頭(3.9%)減少していた。また格付の A5 は、去勢で 22,735 頭と去勢全体の 19.4%を占め、A4 以上は 66,861 頭と去勢全体の 57.1%を占めていた。同様に雌について A5 は 9,534 頭と雌全体の 13.8%、A4 以上は、30,084 頭と雌全体の 43.6%を占めていた。



BMSにおいては去勢、雌ともに4が最多で、去勢 21,450 頭の 18.4%(対前年-3.5%)、雌 13,490 頭の 19.8%(対前年-2.3%)だった。BMSの等級区分は8以上が等級5となるが、去勢で8以上は去勢全体の21.7%と、前年度の18.4%より3.3%増加し、雌は雌全体の16.4%と、前年度の15.0%よりも1.4%増加した。

図2 各形質の度数分布(つづき)



国では、肥育期間の短縮を図り、生産性を向上させるために、表2のとおり目標値を掲げているところである。また、図3にと畜月齢別の各形質の平均を示した。と畜月齢の平均は、去勢で29.5カ月齢、雌で35.8カ月齢であった。

表2 黒毛和種去勢肥育牛の能力に関する目標数値

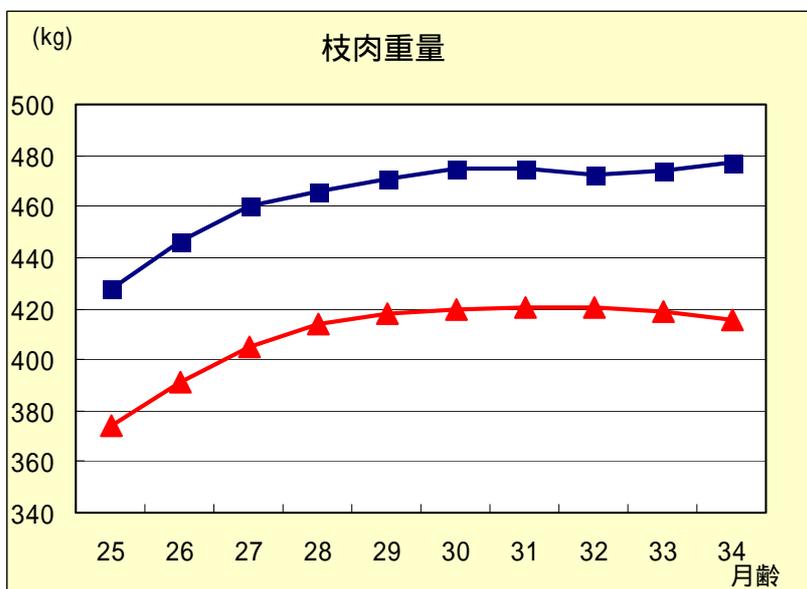
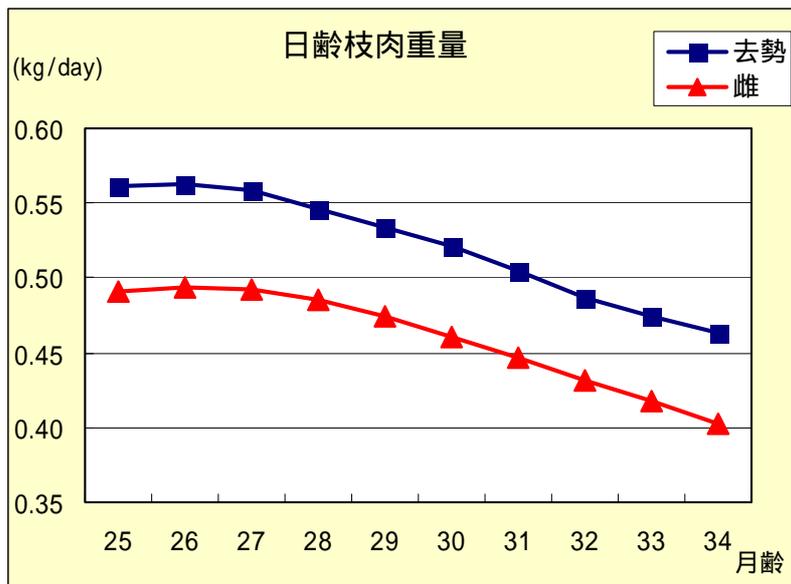
	肥育開始時		肥育終了時		枝肉重量	1日平均増体量	(参考) 肉質等級
	月齢	体重	月齢	体重			
現在	9.5	290	30	695	440	0.65	3.5
目標 (27年度)	8.0	240	24	675	430	0.90	3-4

注：1) 目標数値は、肥育期間短縮を目指したものである。

2) 「(参考)肉質等級」は、肉質の維持又は向上を目指しつつ、効率的な肥育を図るための目安である。平成17年3月 家畜改良増殖目標より

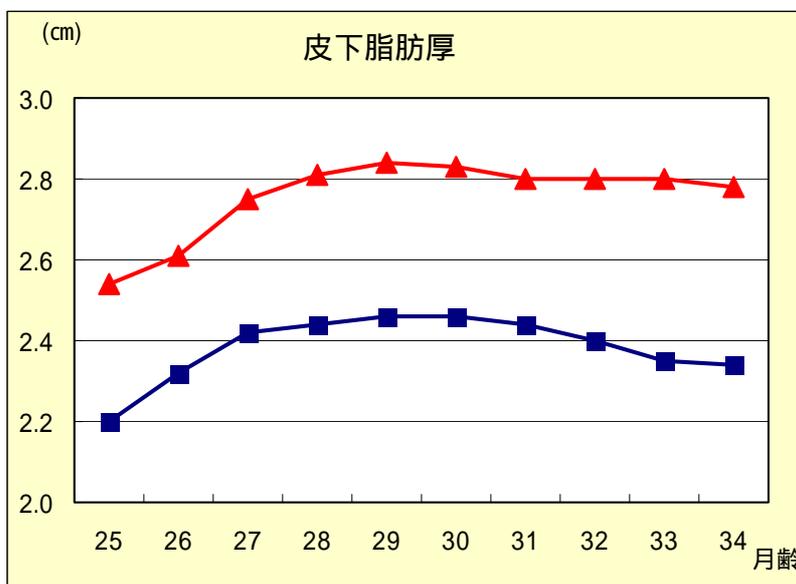
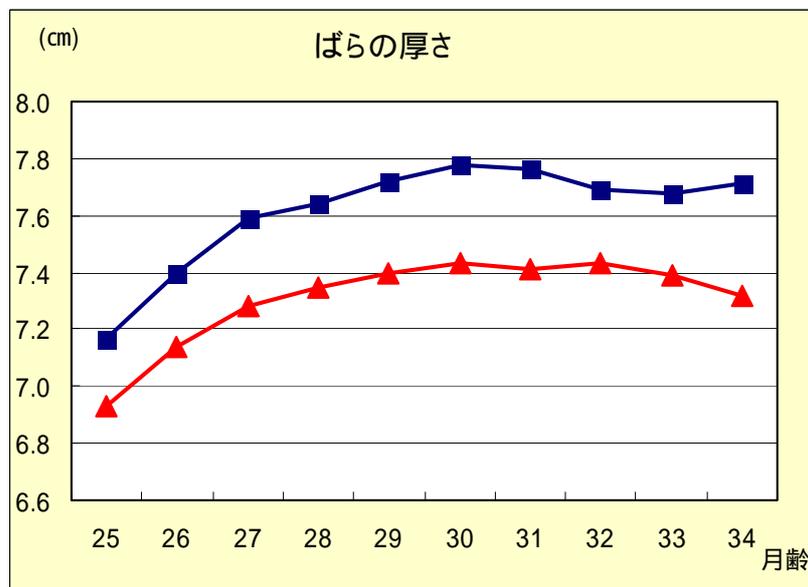
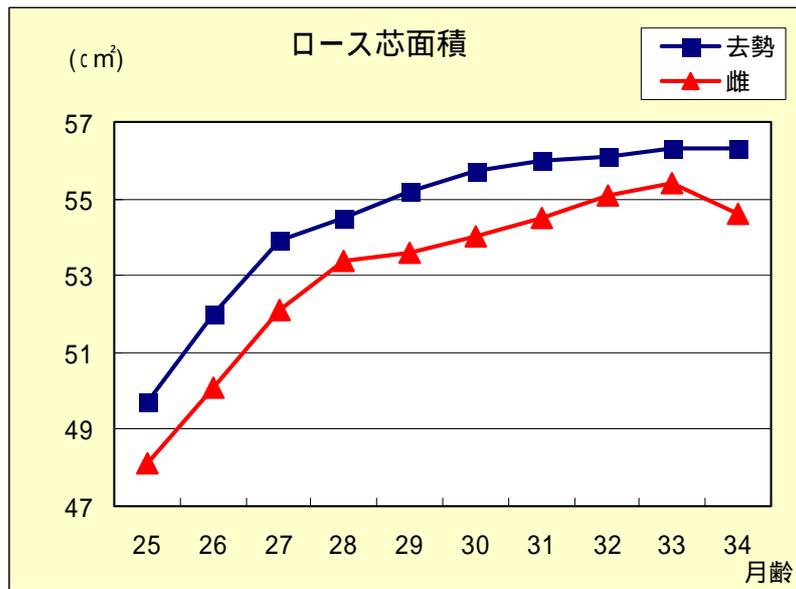
日齢枝肉重量については、去勢、雌ともに 26 ヲ月齡をピークに、月齡が進むほどに減少した。また枝肉重量は、去勢で 31 ヲ月齡をピークに 32 ヲ月齡で減少したが、33、34 ヲ月齡にかけて増加した。雌では、29 ヲ月齡あたりから増加が停滞し、33 ヲ月齡から減少した。

図3 と畜月齡別分布



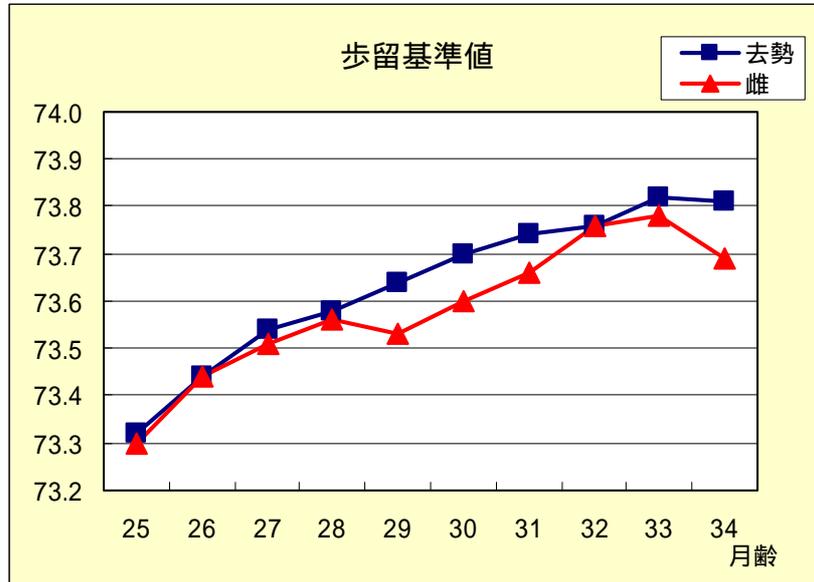
ばらの厚さでは、去勢では 30 ヲ月齡をピークに 32 ヲ月齡まで若干減少したが、その後若干増加した。雌では 32 ヲ月齡をピークに減少している。ローズ芯面積では、去勢では月齡が進むほど高くなっているが、雌牛では 33 ヲ月齡をピークに減少した。

図3 と畜月齢別分布(つづき)

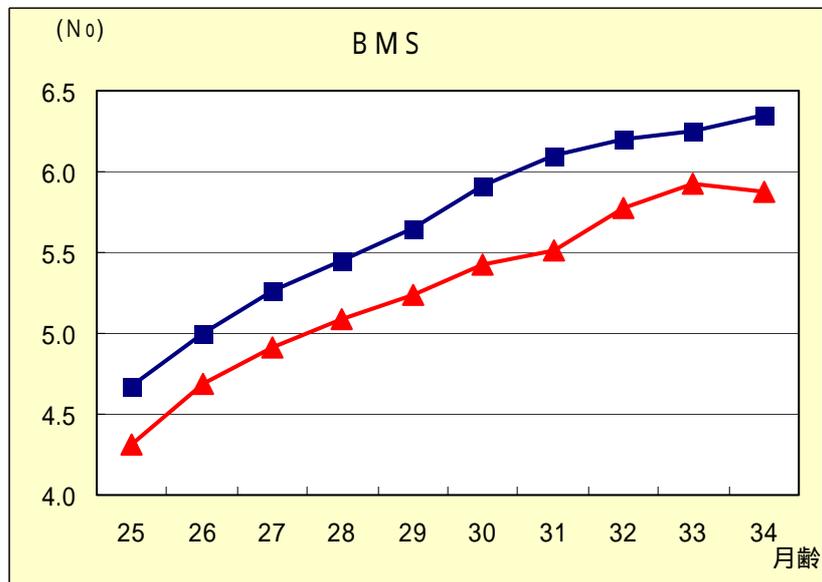


歩留基準値において、去勢については、33 ヲ月齡をピークに減少し、雌は 28 ヲ月齡から 29 ヲ月齡で減少したが、その後増加し、33 ヲ月齡をピークに減少した。

図3 と畜月齡別分布(つづき)



BMS については去勢において月齡に伴い向上し、雌については、33 ヲ月齡をピークに減少した。



《参考》枝肉成績とりまとめの見方

1) とりまとめの条件について

- ・平成20年4月1日から平成21年3月31日の期間にと畜され、平成21年5月26日までに本事業で収集された黒毛和種の枝肉情報を集計しています。
- ・各調査成績は生年月日、血統情報等個体が明らかなものについて集計しています。
- ・一部不明なデータは集計から除外したため、項目により集計件数に差があります。

2) 語句について

- ・各調査成績中の平均は、各個体で報告のあった成績の合計をその個体数で割ったものです。また、 \pm SDは標準偏差を示しており、この値が大きいほど個々の成績にバラツキが大きいことを示しています。

3) とりまとめ項目について

提供形質について

日齢枝肉重量(kg/day)、枝肉重量(kg)、ロース芯面積(cm^2)、バラの厚さ(cm)、皮下脂肪厚(cm)、歩留基準値、BMS(No)、BCS(No)、しまり、きめの10項目です。

注) 日齢枝肉重量：枝肉重量をと畜日齢(と畜日から生年月日を引いた日数)で割った値

BMS：牛脂肪交雑基準

BCS：牛肉色基準

枝肉形質別平均 \pm SD(去勢・雌)

年度全体平均

年度別の各枝肉成績の頭数、平均と標準偏差をそれぞれ示しています。